ノイズ対策技術セミナー（参加無料　対面＋オンライン）

EMC試験とノイズ問題の取組み方

当センターでは、県内企業の製品開発、品質管理への技術支援のためにノイズ試験機器を導入し、昨年度から機器活用による試験への理解と対策技術の向上を目的としたセミナーを行っております。

今回のセミナーは、二日間に分けて、ノイズ試験の目的や設計対策の要点、ノイズ問題への取組み方について、現場でノイズ対策を支援されている講師にご講演いただきます。ぜひ、ご参加ください。

開催日時

１日目：令和６年７月２日(火)　14時～16時
２日目：令和６年７月３日(水)　10時～12時

開催場所

工業技術センター2F 第１技術研修室（対面、オンライン）

講師

倉西技術士事務所　倉西 英明　氏

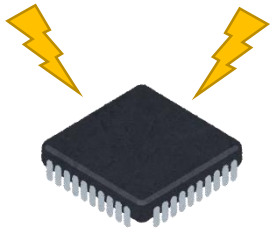
1990年 富士写真フイルム(現富士フイルム)入社。印刷機器のアナログ回路設計や医療画像診断機器のEMC設計・対策などに従事。

2016年 退職後、倉西技術士事務所を開設。
前職で培った経験を元に、基板ノイズ設計コンサル、対策支援。

技術士（電気電子部門）、iNARTE/KEC EMC Senior Design Engineer

内容

- **7/2(火)　14時～16時　EMC試験の概要**
  - ✓ EMC規格の予備知識
  - ✓ ノイズ計測（デシベル、スペクトル）
  - ✓ エミッション試験の概要、目的
  - ✓ イミュニティ試験の概要、目的



※16時～16時30分（対面参加の方のみ）
センター職員によるデモ(スペアナと近磁界プローブでのノイズ観測)

- **7/3(水)　10時～12時　ノイズ問題の方法論と技術論**
  - ✓ ノイズ問題の方法論（原因を掴むコツ、再現性を確保する手法）
  - ✓ ノイズ問題の技術論（発生源、伝達経路、アンテナ）
  - ✓ 設計時の対策技術（回路、機内・機外ケーブル、筐体）
  - ✓ 設計後の対策技術（磁性コア、フィルタ、シールド、GND）

詳細、申込方法は2枚目へ

講演　EMC試験とノイズ問題の取組み方

電子機器の製品開発では、開発の終盤から製造着手までに様々な規格試験を実施します。この中でも、EMC試験は、「何のために、どのように」試験するのかを理解せずに、とりあえずで試験を行った場合、対策の立案や実行が難しく、暗中模索に陥り、想定以上の工数がかかります。

本セミナーの１日目は、代表的なEMC試験について、「どう測り、どんなノイズをどう加えるのか」といった「敵を知る」内容を扱います。２日目は、ノイズ問題への取組み方として、設計時や問題発生時に、再現性を確保して、どのように原因をつかみ、ノイズに立ち向かって行けば良いのかを学びます。

参加申込

- **申込締切日：6月25日（火）**

- 下記申込書をFAXしていただくか、
  二次元コードのリンク先からお申込みください。
  申し込み先FAX：088-845-9111
  Zoom接続用のURLは、講習会の前日までにメールでご連絡いたします。

申し込み先
QRコード

- **注意事項**
  - 申込は高知県内の企業・事業所の方に限定します。
  - ZOOM接続用URLは、他人に教えないでください。
  - 講習会の録画、録音、公開は禁止します。

企業名	
参加者氏名	
電話番号	
メールアドレス	
①7/2（火）14~16時	□ 対面　・　□ オンライン
②7/3（水）10~12時	□ 対面　・　□ オンライン

<<お問い合わせ>>
高知県工業技術センター 生産技術課　島内・中澤
TEL：088-846-1653　FAX：088-845-9111
E-mail：151405@ken.pref.kochi.lg.jp